



## 国際深海科学掘削計画 (IODP) 研究航海関連活動報告書

提出年月日： 2018 年 10 月 1 日

氏名：市山祐司

所属機関・職名：千葉大学理学研究院 助教

活動の種類 (該当項目を残す)	1. 乗船 (port call) 3. Shore-based Science Party (MSP 以外) 5. Sampling party	2. Onshore Science Party (MSP) 4. Pre-expedition meeting ⑥. 1st/2nd Post-expedition meeting
IODP 研究航海番号 および航海名	Expedition 366 "Mariana Convergent Margin & South Chamorro Seamount"	
乗船時の役割	Core Description	(例 Sedimentologist)
出張期間 (移動も含む)	2018 年 9 月 9 日 ~	2018 年 9 月 15 日
用務地 (国・都市)	米国 ホノルル市	

### 本活動における成果

2018 年 9 月 10 日~12 日の 3 日間で IODP Exp.366 のポストクルーズミーティングがハワイ大学の East-West Center で開催された。19 名の参加があり、それぞれから 30 分程度の発表を行い、活発な議論が行われた。私からは、「Various metamorphism and serpentinization of mafic and ultramafic clasts from the Mariana serpentinite seamounts」というタイトルで、苦鉄質岩と超苦鉄質岩の変成鉱物の観察結果とその意義について、新しいモデルの紹介とともに発表を行った。最終日に、今後の研究方針をそれぞれの分野に分かれて議論を行った。各研究者で研究の進捗状況は様々ではあるが、お互いの目指している方向性を確認することができたという意味では有意義であった。

13 日と 14 日で、コーチフの Patty Fryer 氏と Geoff Wheat 氏が保有している過去の航海で得られた蛇紋岩海山からの各種試料の分配が行われた。興味深い大変貴重な試料を持ち帰ることができたので、今後の研究の発展に活かしたいと思う。

### 備考

本報告書は J-DESC ウェブサイトに掲載されます。未発表の研究データなど、公開に差し支えのある情報が含まれていないかご確認ください。

→ 確認後チェック

### 注意事項

1. 当報告書は出張終了後 2 週間以内に海洋研究開発機構地球深部探査センター (CDEX) 内 J-DESC サポートオフィスに E-mail (jdesc@jamstec.go.jp) でご提出ください。